



置き薬ならぬ置き工具「MRO ストッカー」の 自動販売機型モデルが新たに登場！！

機械工具卸売商社のトラスコ中山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中山哲也）は、2020年1月より本格的にサービスを開始している、置き薬ならぬ置き工具「MRO ストッカー」の設置・決済方法の一つとして自動販売機を利用したサービスを新たに加えます。これまでセキュリティ面で導入が難しかった企業様や、建設現場などの不特定多数の方が出入りする場所にも設置が可能となります。

【MRO ストッカーの概要】

2020年1月より本格的にサービスを開始している、「ユーザー様の敷地内に事前に設置した棚へ日々使用する消耗品を置き、使った分だけ請求させてもらう」という、富山の置き薬の工具版サービスです。当社の在庫約48万アイテムからユーザー様の必要とされる商品を選定し、棚へ陳列することができます。

商品の購入には専用のアプリを使用し、ユーザー様は簡単な操作のみ、納期ゼロで商品を購入することが可能です。今後は機械・設備の稼働状況や気候等の外的要因をAIで予測し、先読みして商品を陳列する仕組みを開発予定です。



↑現在展開中のMRO ストッカー

2021年10月15日現在 導入件数：153件

特設サイトはこちら

【自動販売機型モデル 導入の目的】

従来型MRO ストッカーの課題であった24時間販売、無人での不特定多数の方への販売、現金・キャッシュレス決済の対応を解決し、更なるMRO ストッカーの市場浸透を図ります。

【自動販売機型モデルのメリット】

自動販売機型を用いる事で防犯上のリスクを低減することができます。例えば建設現場や物流拠点など、不特定多数の方が出入りする場所にも提案が可能です。また、工場内であればICカードにより利用者を制限するシステムを活用し、切削工具など小物商品を中心に、商品のラインナップを充実させることも可能となります。

【今後の展開について】

- ① 当社物流センター「プラネット埼玉」でテスト機を稼働
- ② セキュリティを課題としていた企業様への提案・設置
- ③ 不特定多数の方が多く出入りする建設現場や物流拠点への提案・設置



↑自動販売機型のMRO ストッカー

ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので予めご了承ください。

- 「がんばれ!!日本のモノづくり」を企業メッセージとし、日本のモノづくりに貢献します。
- 東証1部上場 証券コード9830 ■事業拠点：国内拠点90か所（本社2か所/国内営業拠点61か所/国内物流拠点27か所）、海外拠点3か所（トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア、ドイツ駐在所（デュッセルドルフ））

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 下津 敦嗣

【本件に関するお問い合わせ】経営企画部 経営企画・広報IR課 課長 高田 真由美、平野 みのり

TEL 03-3433-9840 MAIL info@trusco.co.jp URL <http://www.trusco.co.jp/>